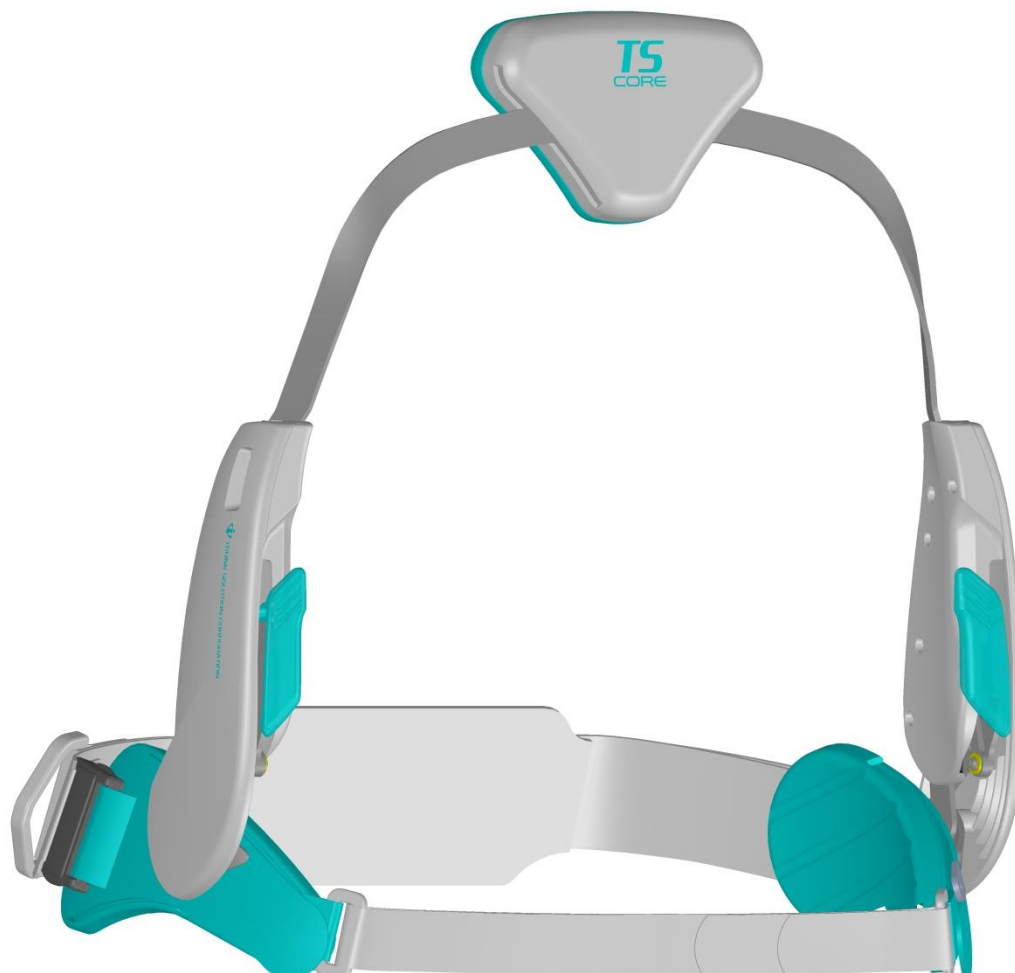


TS CORE 取扱説明書

(トランクソリューション®コア)



この度は、TS CORE(トランクソリューション®コア)をお買い上げいただき有難うございます。

この取扱説明書(以下本書)は、本製品の機能を十分に活かす操作方法や安全にご使用いただく為の注意事項等を記載しています。

ご使用前に、本書をよくお読みの上、正しくお使いください。またその後は本書を大切に保管し、必要に応じて繰り返しお読みください。


TRUNK SOLUTION CORPORATION

TS CORE (トランクソリューション®コア)とは

トランクソリューション®コアは装着することにより、体幹を伸展、骨盤を前傾させ、かつインナーマッスルの活動を促す体幹装具です。モーター等の能動的な動力を用いずに装着者の姿勢が美しく保持されます。且つ、体幹機能の活動を促し、身体能力及び運動能力を向上させる画期的な装具です。

「トランクソリューション®」という商品名は、トランク(体幹)をソリューション(解消/整える)と言う意味で名づけられました。体幹を調整するということは、文字通り「体の根幹」に作用しますので、運動能力の向上、美しい姿勢「美ポジ®」の獲得による、健康で生き活きとしたライフスタイルをサポートします。「介護予防」「病院リハビリ分野」「アクティブシニア分野」「スポーツジム分野」「個人の健康促進」等、多くのシーンでご利用頂けます。

トランクソリューション®の6つの特長

トランクソリューション®は、無動力で、自身の保持している身体能力を使い、更に身体能力及び運動能力を向上させることが可能です。トランクソリューション®を装着して歩行すると

- ・正しい姿勢を体で学習出来ます
- ・学習効果により、正しい姿勢が身に付きます
- ・骨盤を立たせる力が働き、足が振り出しやすくなります
- ・胸パットの抗力を受けながら姿勢を正すことで、インナーマッスルが鍛えられます
- ・正しい姿勢で歩行できる為、腰の負担が小さくなる一方、歩行に必要な不可欠な下肢の筋が鍛えられます
- ・下肢の筋とインナーマッスルが鍛えられ、その結果、身体・運動能力が向上します

私たちは、トランクソリューション®コアの使用が、悪い姿勢により引き起こされる様々な体のトラブルに対する解決手段の一つになると考えています。高齢者の方、身体に障害をお持ちの方、健常人やアスリートの方等にもご使用いただけます。

※トランクソリューション®コアは医療機器ではなく、効果・効能を保証するものではありません。

※ご使用にあたっては、本書をよく読んでご使用ください。

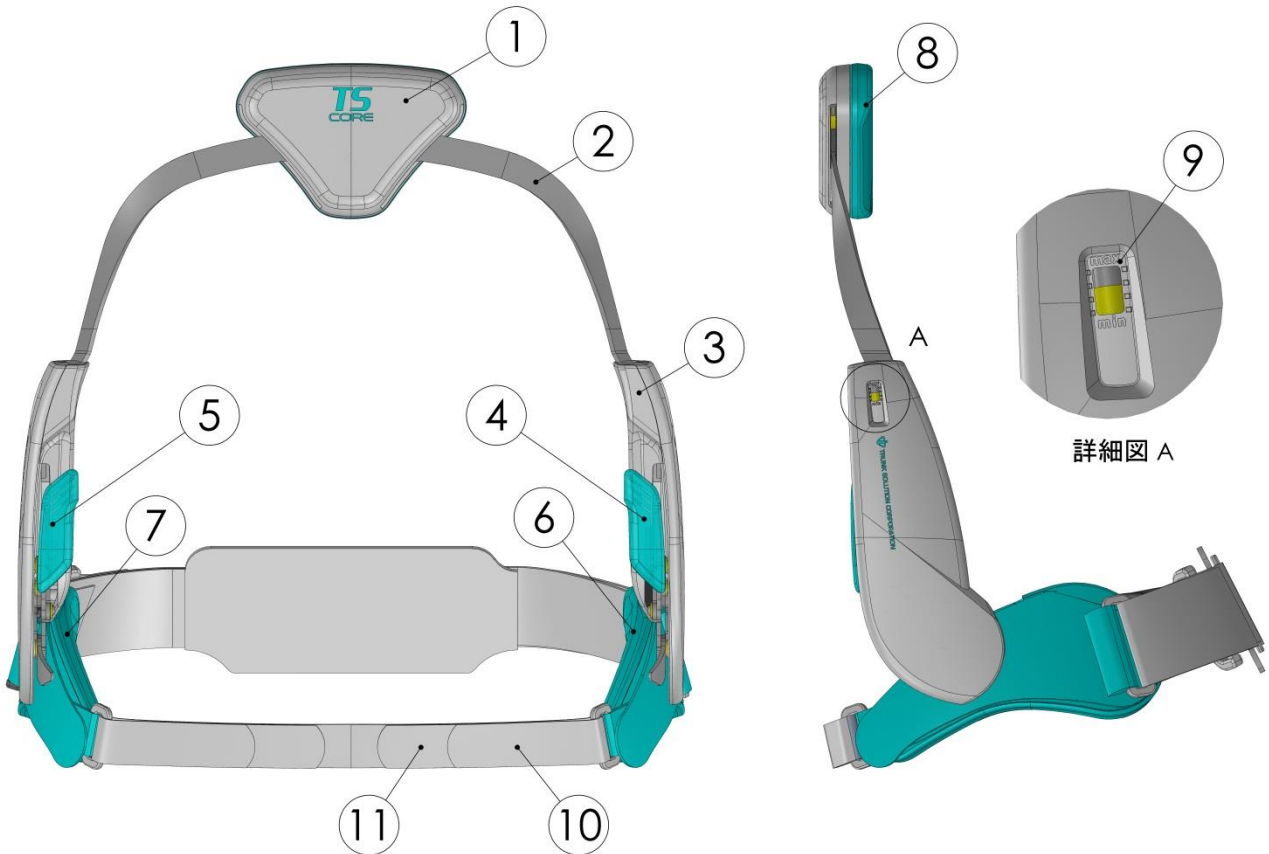
目次

TS CORE (トランクソリューション®コア)とは	・・・P2
1. 各部の名称	・・・P4
2. 安全にご使用いただく為に	・・・P6
3. 装着方法	
3-1 押しカレバーの準備	・・・P11
3-2 ベルトの準備	・・・P12
3-3 トランクソリューション®コアを前側から装着	・・・P13
3-4 胸パットの位置調整	・・・P14
3-5 骨盤パットの位置調整	・・・P15
3-6 前ベルトの位置調整	・・・P16
3-7 締め付けベルトによる固定	・・・P17
3-8 装着後の調整(後ろベルト)	・・・P18
3-9 押しカレバーを上げる	・・・P19
3-10 装着確認・点検事項	・・・P20
3-11 押し力の調整	・・・P21
3-12 装具を外す	・・・P22
4.保証規定	・・・P23

12. 各部の名称

各部の名称を以下に示します。

※⑥⑦⑧のパット、⑩前ベルト、⑫(⑬+⑭)後ろベルトは消耗品です。



①体幹支持部…体幹を支持する部分です。

②金属フレーム…ステンレス製のフレーム

③サイドケース

…サイドケースには、角度に依存せず一定の押し力を与えることができるリンク機構が内蔵されています。

④⑤押しカレバー

…胸パットへ押し力を与えるレバーです。押しカレバーを上げると胸パットを胸に押し当てる押し力が発揮され、下げると押し力が解放されます。

⑥⑦骨盤パット…骨盤をやさしく支えることが可能な、シリコン製のパットです。

⑧胸パット

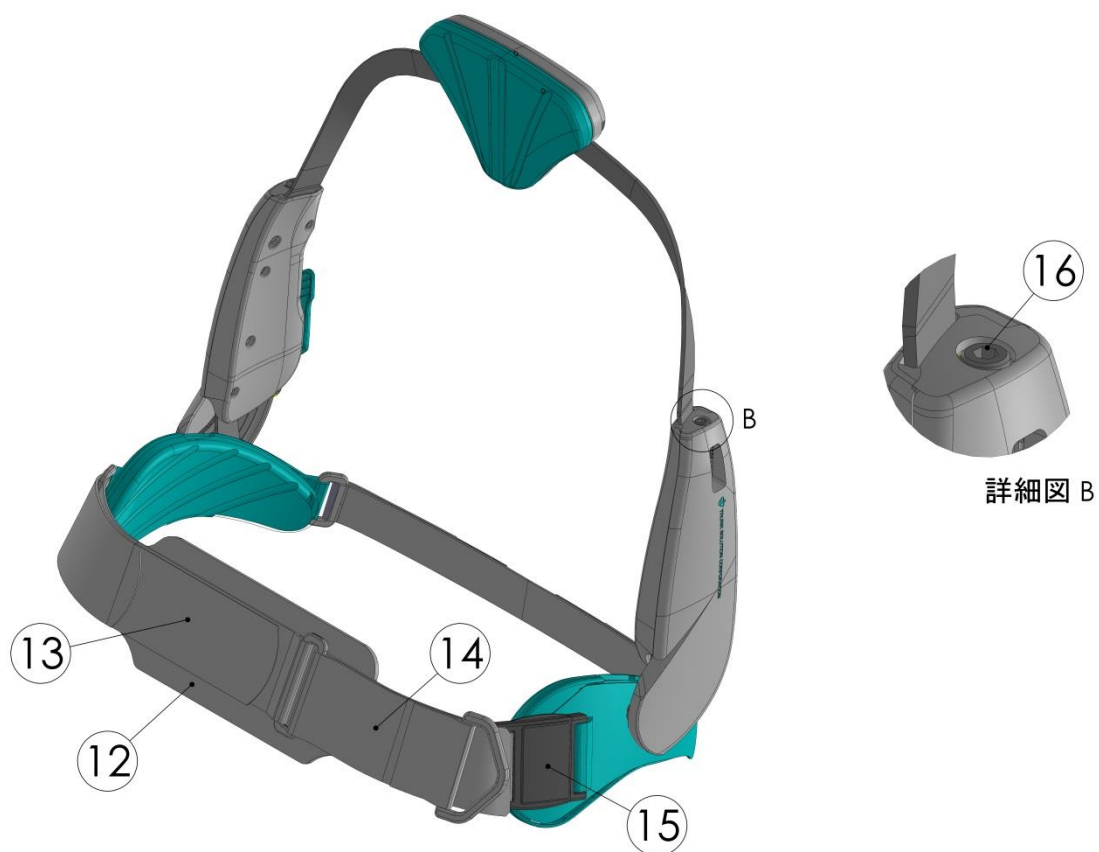
…体幹支持部にかかる押し力をダイレクトに伝えることが可能な、体幹にフィットするシリコン製のパットです。

⑨押しカメモリ

…押し力調整ネジを回すことで動くメモリです。左右にあり、左右の押し力を均等に調整する為に使用します。

⑩前ベルト

⑪前ベルト面ファスナー部(フック)



⑫後ろベルト

⑬後ろベルト面ファスナー部(フック)

⑭締め付けベルト

⑮バックル

⑯押し力調整六角ネジ

…押し力を調整する為のネジです。六角レンチにより締めこむことで押し力は上がり(max)、緩めると押し力は下がります(min)。

2. 安全にご使用いただく為に、必ずお守りください

ご使用前に本書を必ず良く読んで、正しくお使いください。

- ・誤った使い方は、けがや故障の原因になります。本書に記載の内容を必ず守ってください。本書の内容を守らなかったことにより生じる、あらゆる損害に対して当社は責任を負いかねます。
- ・普段から運動をされていない方や高齢者の方は、健康診断を受けてから運動されるか、無理をせず5分程度から徐々に運動量を増やすことをお勧めします。
- ・過度な運動はさけ、自分の体力に合った運動を心掛けてください。
1日30分以内を目安としてお使いください。
- ・本製品は正しい姿勢を身に付けることを目的としており、腰痛や膝痛等の痛みを直接的に軽減させる、または解消させるものではありません。

【免責事項】

- ・本製品は、医療機器ではなく、効果・効能を保証するものではありません。
- ・本書の使用上の注意点から逸脱した使用法によって、生じたあらゆる損害について賠償責任を負いかねますので、ご了解のもとご使用ください。

トランクソリューション®コアは、健常人向けの装具として開発されたものです。

疾患をお持ちの方(疾患の前兆がある方や予備軍の方も含まれます)のご利用については、一部、病院等でのリハビリ用補装具として使用実績はありますが、弊社は製品使用に係る一切の賠償責任を負うことが出来ません。ご使用に当たっては、かかりつけの医師と相談頂きながら、ご自身の責任で使用することに、ご同意頂くことが前提となります。また健常人の方でも、下記の内容に従ってください。ご使用により痛みや痺れが出た場合は、直ちに使用を止めて、医師と相談してください。

警告



この表示を無視して誤った使用や取扱いをすると、人体に不具合を生じ、死亡または重篤な障害を負う可能性が想定される内容を示します。

(1) トランクソリューション®コアの機構について

トランクソリューション®コアの機構は、次の2点が上げられます。これらの機構が、現在お持ちの疾患の増悪や新たな疾患を誘発する可能性があります。

【①胸パットにより、胸を押す力(約30N:3kg程度)が発生します】

胸を押す力により、電子埋め込み機器等への影響や内臓への影響が懸念されます。

【②前傾の姿勢を矯正します】

常に前傾姿勢になっている人が、無理に姿勢を矯正すると圧迫骨折等が生じる可能性があります。また、新たな痛み・痺れの誘発や、現在の痛み・痺れを増悪させることがあります。

(2) 装着する前に確認すべき警告事項について

- ・妊娠中及び出産直後にはご使用しないでください。事故の原因となります。
- ・ペースメーカーやパルス発生器等の身体埋め込み式の電子機器を使用している場合はご使用しないでください。事故の原因となります。
- ・背中を伸ばした時に、お尻から脚にむかって痺れが発生する方はご使用しないでください。症状を悪化させる可能性があります。
- ・背中を伸ばした時に、痛みが増悪する方はご使用しないでください。症状を悪化させる可能性があります。
- ・背中の変形等により仰向けで寝るのが難しい方はご使用しないでください。症状を悪化させる可能性があります。
- ・重度の心疾患及び肺疾患をお持ちの方はご使用しないでください。症状を悪化させる可能性があります。
- ・重度の後側弯症状の方は、胸パットが胸骨から外れて当たらない場合や、装着しても側弯症状が改善されない場合はご使用しないでください。
- ・ご使用により、痛みや痺れが出た場合は、直ちに使用を止めて、医師と相談してください。
- ・その他、何らかの身体的な障害を有する場合は、必ず医師に相談してください。医師に相談せず自己判断でご使用することは絶対にやめてください。障害を悪化させる可能性があります。

(3) ご使用方法

- ・過度な運動はさけ、自分の体力に合った運動を心掛けてください。
一日30分以内でご使用ください。週二日で10分程度の使用でも効果は期待できます。
- ・立位、歩行あるいは椅子に座った状態でのみご使用ください。
- ・その他の使用や装着方法についての注意事項は本書の記載に従ってください。
誤った使用や間違った装着は、事故の原因に繋がります。

(4) 次の方は使用しないでください

- ・認知症の方で介助者が居ない場合
- ・意思表示が出来ない方
- ・てんかんを有する方または、めまいを起こして体のバランスを崩したり、意識を失ったことがある方
- ・発熱時や過労時の場合
- ・骨や関節に疾患があり、運動によりその症状が悪化する可能性の有る方
- ・飲酒した方
- ・体調がすぐれない時
- ・睡眠作用がある薬を服用した場合
- ・その他疾患や合併症等で全身状態が低下している方

(5) 装着方法に関する警告事項

- ・以下の項目に注意し胸パットの高さを設定してください。
(正しい位置についてはP14「3-4 胸パットの位置調整」を参照ください)

①鎖骨等に当たらないような高さに取り付けてください。

鎖骨や肋骨等の骨を強く圧迫すると骨折の原因になります。

②取り付け位置が高いと、のどを圧迫し重大な事故の原因になります。

③取り付け位置が低い場合は胸パットがみぞおち等に当たり内臓を圧迫し重大な事故の原因になります。

④胸パット部の上辺と顎との距離が15cm以上離れることを確認してください。

⑤胸パットが胸部の左右中央に位置するように取り付けてください。ずれて取り付けられた場合心臓を圧迫し血流が低下する可能性があります。

- ・胸パットの高さを設定した後、運動を開始する前にしっかりと後ろベルトを締め、本製品が上にずれてのどを圧迫することのないようにしっかりと装着してください。
- ・後ろベルトが緩んだ状態でのご使用はしないでください。
- ・装着によって嚥下が妨げられる場合は、使用を中止してください。
装着したままで飲食すると事故の原因となりますので、飲食しないでください。
- ・装着方法によっては呼吸を妨げる可能性がある為、装着後呼吸に異常がないことを確認してください。
- ・のどつまり事故の原因になりますので、パット部をかじったり、食べないでください。
- ・ネックレスやマフラー等を首に巻いたまま使用しないでください。本体にひっかかり首が締まる等の重大な事故の原因になります。

(6) 装着した状態での警告事項

- ・使用する場合は、立位または椅子に座った状態でご使用ください。
- ・姿勢が垂直になるような状況でご使用ください。
- ・前かがみやひねり、反り返った姿勢では使用しないでください。
- ・現在、杖や歩行器をご使用の方等で転倒の危険がある方は、必ず、介助者による転倒防止(手で介添えする等)を行ってください。
- ・衝突や転倒するおそれのある場所(段差によりつまづく可能性のある場所等)での使用は避けてください。
- ・本製品は、歩行、ジョギング等の軽い運動下での使用及び定位置での軽い運動・作業に使用し、それ以外でのご使用はしないでください。
- ・装具を装着することで動きが制限される為、無理な動作、姿勢をとらないでください。つまづき、転倒等事故の原因となります。
- ・地面のものを拾う、靴ひもを結ぶ等、無理な姿勢をとらないでください。転倒等事故の原因となります。
- ・車、自転車、バイク等の運転中に装着・使用しないでください。事故の原因になります。
- ・長時間、連続で使用しないでください。疲労により転倒等事故の原因となります。
- ・装着直後に痺れや痛みが増悪した場合は直ちに使用を止めて医師に相談してください。
- ・使用時に血圧が過度に上昇したり、不整脈が出る等身体に変調がみられた場合は、使用を中止し医師に相談してください。

(7) その他事項

- ・分解や改造をしないでください。事故の原因になります。

注意



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人体に傷害を負う危険が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

(1) 装着する前に確認すべき注意事項

- ・肌に直接装着するのではなく、必ず着衣の上に本製品を装着してください。厚い着衣(セータ等)や生地表面の滑りが良い着衣の場合、本製品がずれやすくなりますので、ずれにくい着衣及び薄着の上に装着してください。

(2) 装着方法に関する注意事項

- ・装着時押しカレバー機構部に指を挟まないようにご注意ください。けがの原因になります。
- ・胸パットの全面が胸に接触するように装着してください。全面で接触しない状態で使用した場合、圧力が一点にかかり、皮膚を損傷する、もしくは骨折する可能性があります。
- ・骨盤パットとサイドケースの間に着衣が挟まる可能性があります。着衣がしわにならないように、まっすぐな状態で着衣の上から装着するようにしてください。

(3) 装着した状態での注意事項

- ・周りに人が多く、他の人との接触が想定される場所では使用しないでください。金属フレームにぶつかり、けがをさせる可能性があります。
- ・使用時、こすれ等により皮膚に軽い痛みやかぶれが生じた場合は使用を中止してください。
- ・装着により普段使用しない筋を使用して運動することで関節痛や筋肉痛が出現する可能性があります。初回は15分以上の連続装着を避け、少しずつ装着時間を延ばすようにしてください。

(4) 日常点検における注意事項

- ・本製品の目視検査をし、異常の個所がないか確認ください。
 - ① フレームは左右対称であるか(変形していないか)
 - ② 押しカレバーにゆるみが無いか
 - ③ 面ファスナーの接着に問題ないか
 - ④ その他、動作不良が無いか
- ・細菌やウイルス等の感染が疑われる方が使用した場合は、使用后適切な消毒処理を行ってください。
- ・適切な消毒が難しい場合は、使用しないでください。感染による被害が拡大する原因になります。

(5) その他の注意事項

- ・車の中等、50度以上の高温になる場所で保管しないでください。劣化、破損及びやけどの原因になります。
- ・運搬時、本製品に過度な負担がかからないように注意するとともに、人や物への損害が生じないように十分配慮してください。
- ・運搬時や使用しないときは、押しカレバーを上げた状態で保管してください。ばねに取り付けるネジ(押し力調整六角ネジ)が振動で緩む可能性があります。

使用上のお願い

- ・お手入れは、乾いた布か、水につけてから強く絞った布でふいてください。ベンジンやアルコール、シンナー等の化学薬品は絶対に使用しないでください。
- ・水、又は水で薄めた中性洗剤を直接製品にかけないでください。
液体が内部に入り、シミや故障の原因になります。
- ・可動部に無理な力をかけないでください。ケガや故障の原因になることがあります。
- ・本書に記載された内容は、情報の提供のみを目的にしており、予告無しに内容について変更されることがあります。
- ・仕様及び外観は、改良の為に予告なく変更する場合があります。
- ・本書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により実物と印象が相違する場合があります。
- ・本製品は日本国内向けに設計開発された装具です。

3. 装着方法

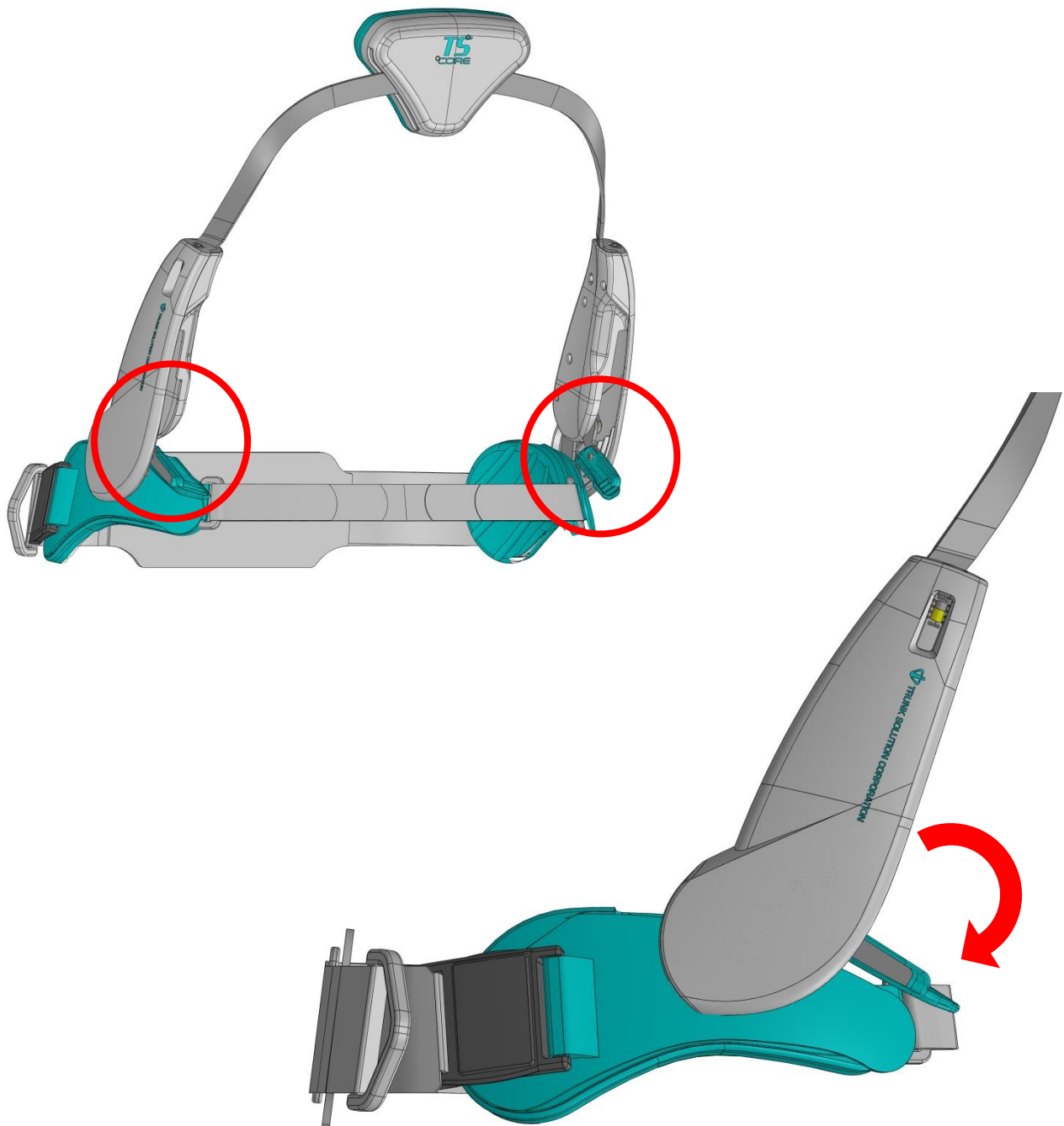
トランクソリューション®コアはベルト等を調整することにより個々の体格に合わせることが可能です。

使用を開始するにあたり、下記手順に沿って、ベルトの寸法を自身に合わせて設定してお使いください。

また、前側にボタンがなく滑りにくい素材の服を着てください。骨盤パッドとサイドケースの間に着衣が挟まる可能性があります。着衣がしわにならないように、まっすぐな状態で着衣の上から装着するようにしてください。装着する際はシャツを必ずズボンに入れてください。

3-1 押しカレバーの準備

前側の左右の押しカレバーを下げてください。押しカレバーが止まるまでしっかり押し下げてください。



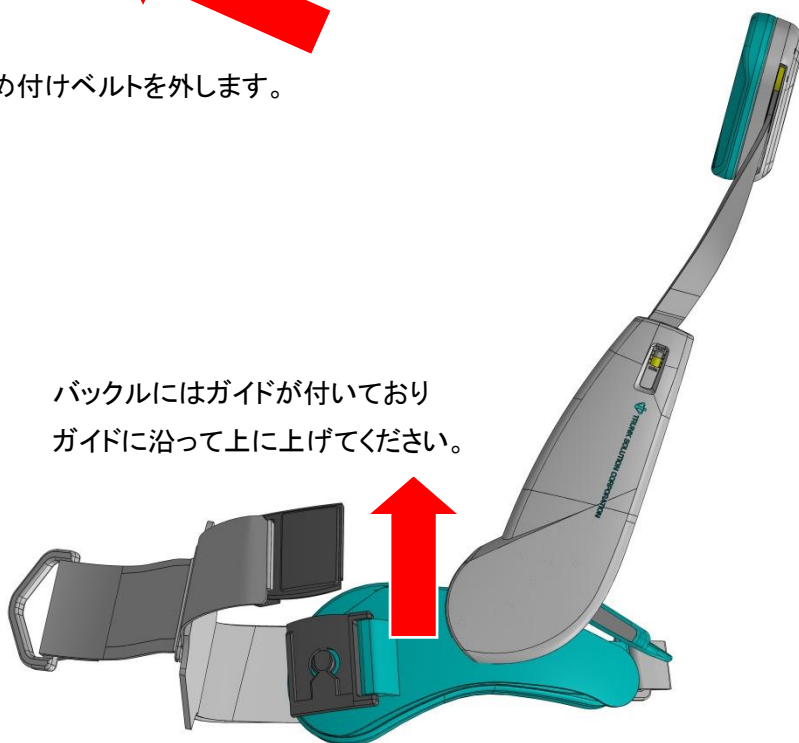
3-2 ベルトの準備

右側にある締め付けベルトと、バックルを外します。



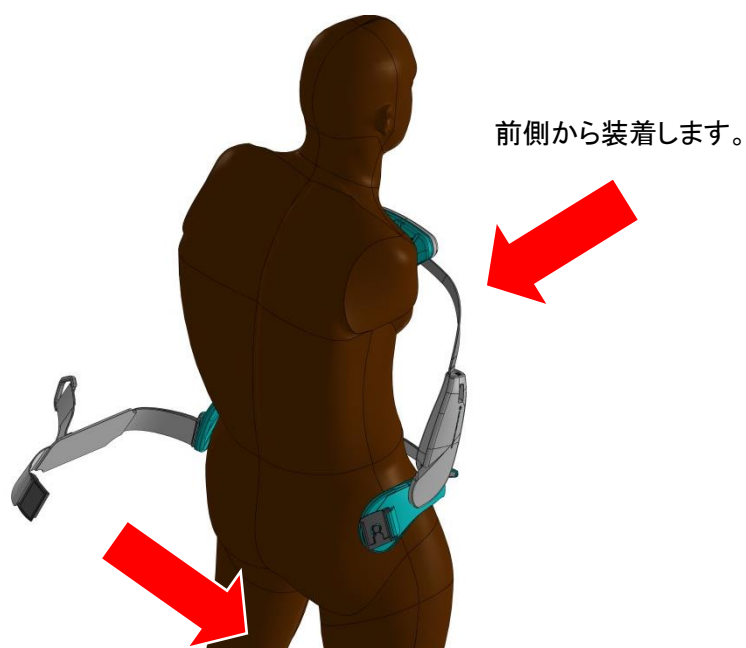
締め付けベルトを外します。

バックルにはガイドが付いており
ガイドに沿って上に上げてください。

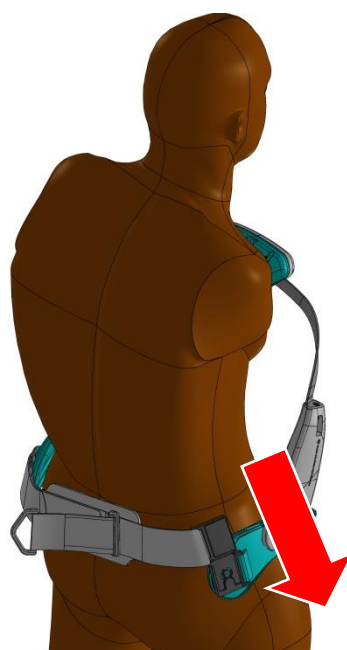


3-3 トランクソリューション®コアを前側から装着

後ろベルトにはバックルが取り付けられており、磁石の力を利用して少ない力で取り付けることができます。
このバックルは、装着時は上から骨盤パットにあるバックルの受け部に、カチッというまで差し込んでください。
※骨盤の位置に対して、骨盤パットが沿うように装着してください。



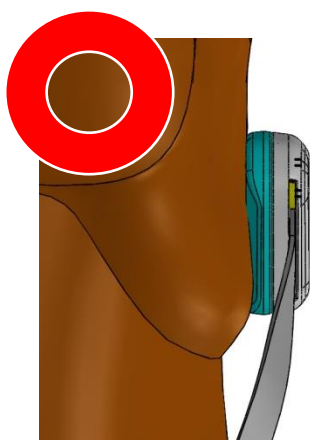
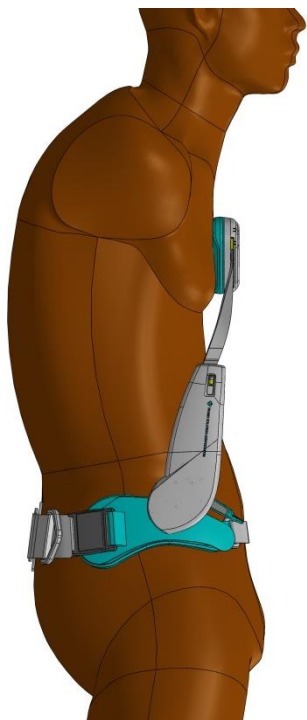
後ろベルトを回します。



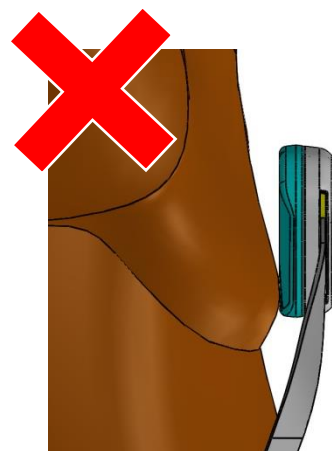
バックルの位置を合わせて
バックルを下にし取り付けます。

3-4 胸パットの位置調整

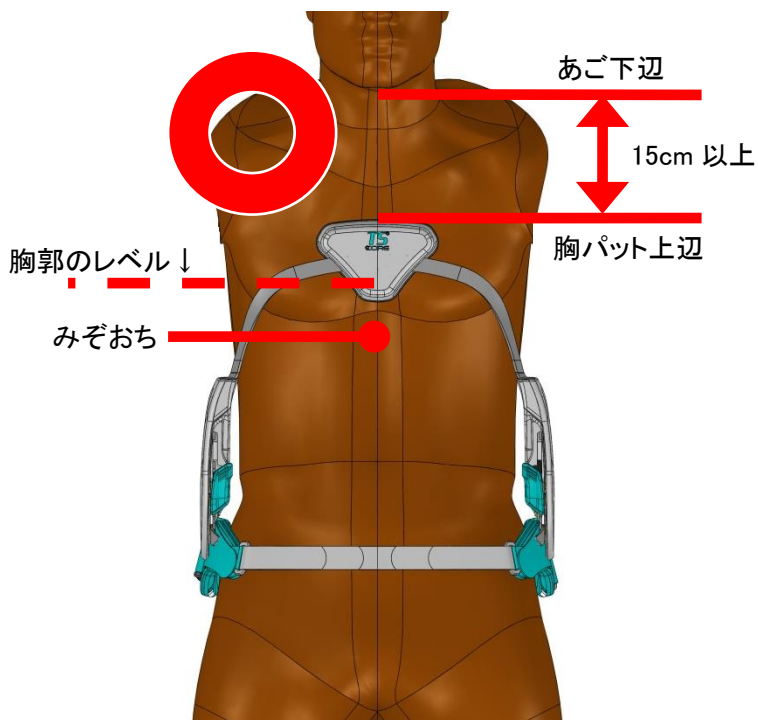
押しカレバーを下げた状態でもばねに力が掛っているので、胸パッド部だけを持って押しカレバーがそれ以上、下がることはありません。胸パット部だけを持って、胸部に対して胸パット全体が当たるように調整してください。胸パットの上辺が、あご下辺から15cm以上あることを確認してください。胸パットの下辺がみぞおちの上にあることを確認してください。



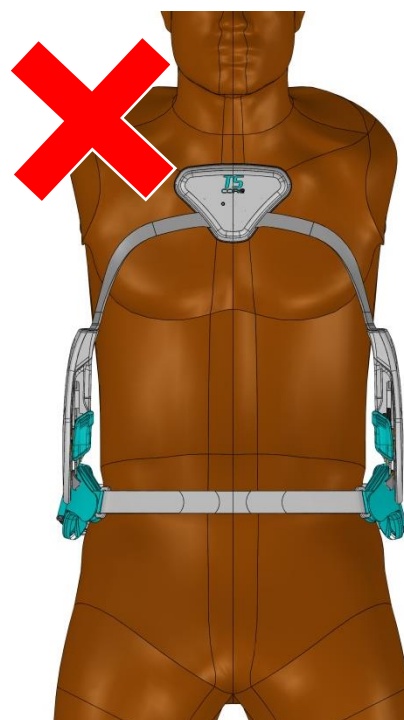
①正しい位置



②隙間があり正しくない



③前方から見て正しい位置



④高すぎる位置

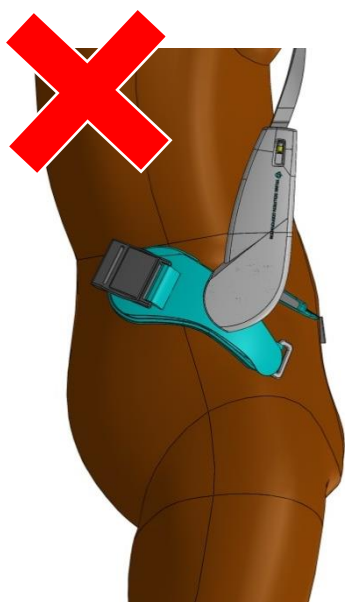
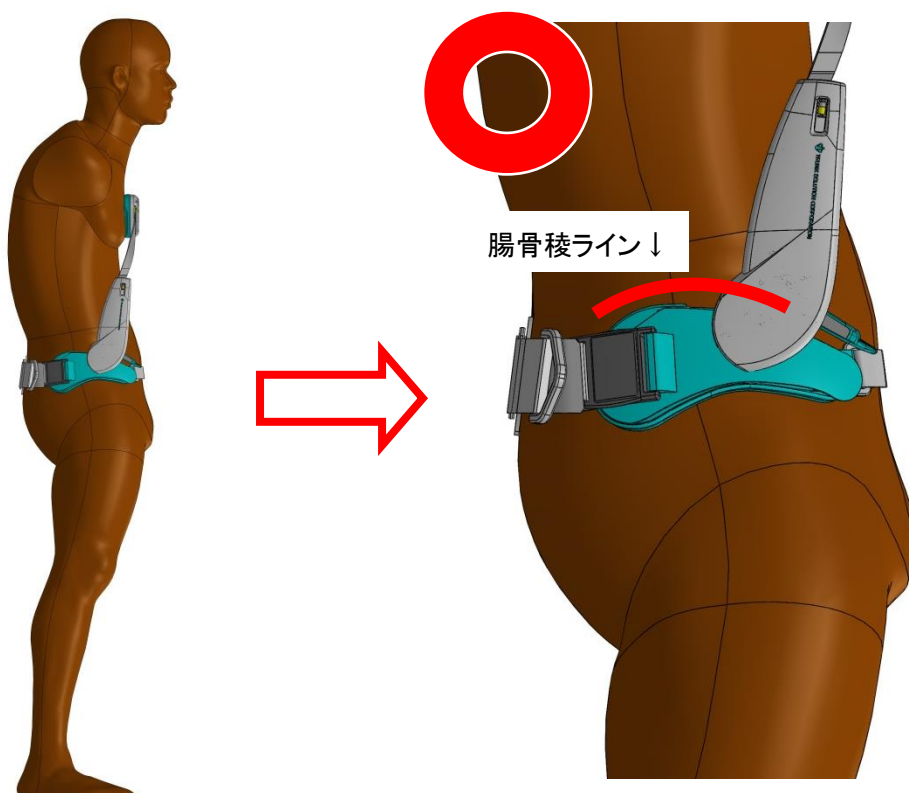
3-5 骨盤パットの位置調整

骨盤パットの上端が腸骨稜(ちょうこつりょう:骨盤の上縁部)の少し下に来るように合わせてください。

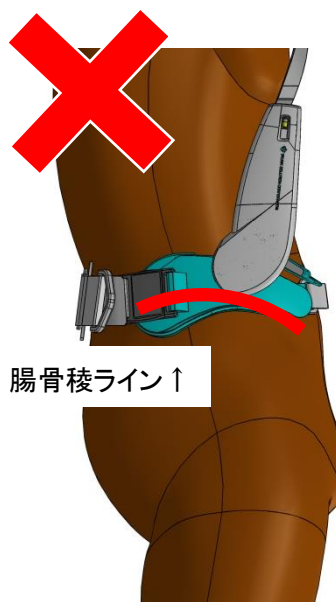
骨盤パットの位置を決定することで、胸パットの高さが決まります。骨盤パットの位置決定後、胸パットの位置が正しい位置にあるか再度確認してください(3-4参照ください。)

腸骨稜は腰の横側にある最もとび出していて触りやすい骨です。図の状態で触ることができます。

正しく取り付けることができていない場合(①②)は、適切に押し力を得ることができません。



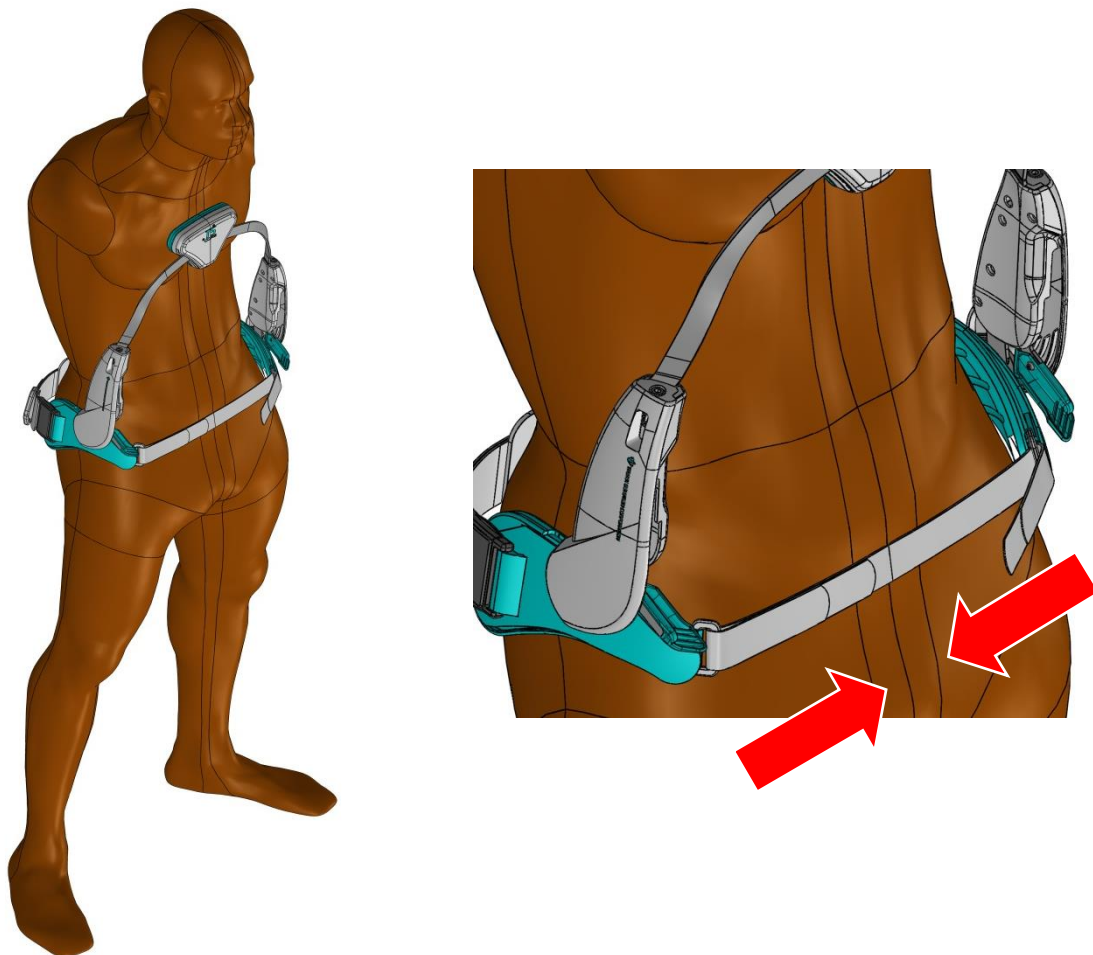
①骨盤パットが横に取り付けられていない場合



②ウエストに取り付けている場合

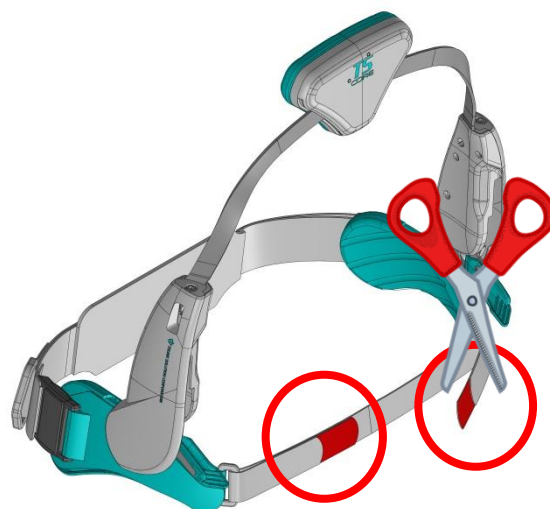
3-6 前ベルトの位置調整

骨盤パットの位置を決定後、前ベルトを折り返して両側の骨盤パットがタイトになる長さに調節します。その際、押しカレバーが完全に下がっていて、左右の骨盤パットが平行になっているかを確認してください。横から確認した場合に、骨盤パットが地面に対して平行に取り付けられている状態が、正しい位置になります。本手順により設定された前ベルトの長さは、一度設定されると変更する必要はありませんが、体格の変化や他の方が使用する場合、もしくは使用頻度によるゆるみが発生した場合は、再度設定してお使いください。



面ファスナー部(右図赤色部)が長い場合は面ファスナー部を適切な長さに切ってお使いください。(右図で示した赤い部分以外は切らないでください。)

他の方がお使いになる為に切ってしまった場合は使用できなくなる可能性がありますのでご注意ください。



3-7 締め付けベルトによる固定

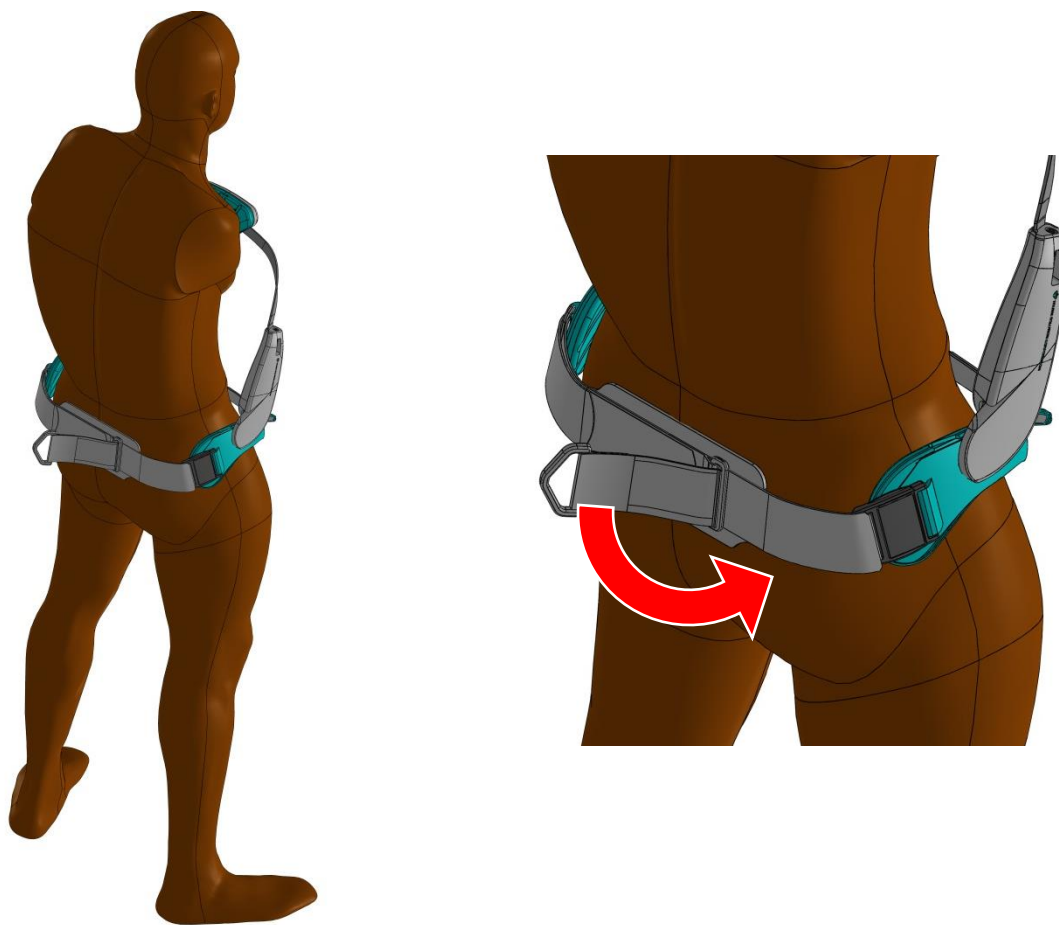
締め付けベルトを適度な力で締めこんでください。

弱すぎると装具がずれてしまいます。

※強く締めすぎないようにご注意ください。

※後ろベルトは、面ファスナーを使用しています。

面ファスナーのフック部に服の生地が触ると、生地を傷める可能性がありますので、装着時にご確認ください。



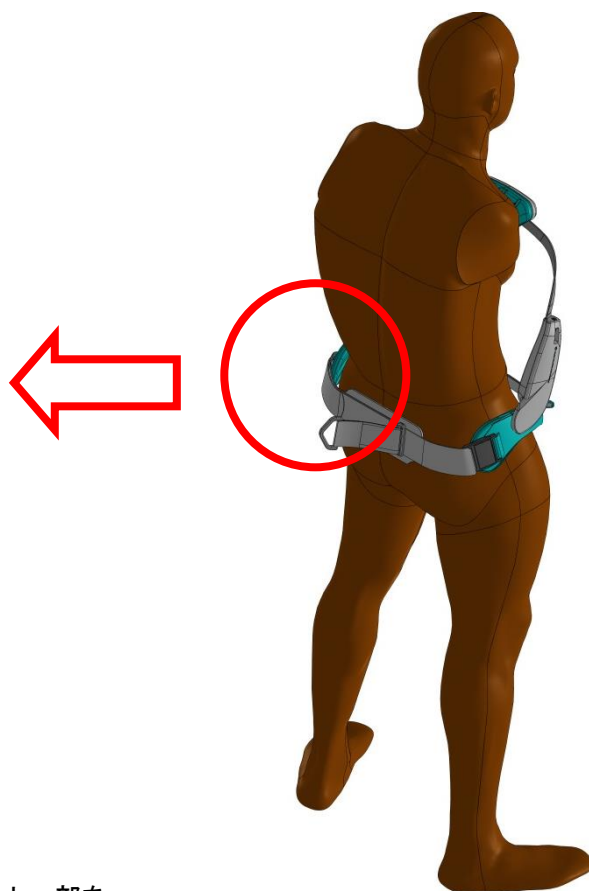
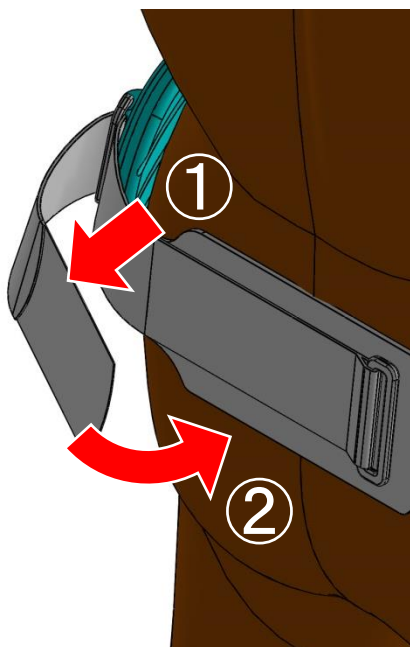
3-8 装着後の調整(後ろベルト)

締め付けベルトを締めてもゆるい場合、胸への押し力が感じられない場合は、後ろベルトの長さを調節します。

まず、締め付けベルトを一度外し、後ろベルトの面ファスナー部分を外します(①)。

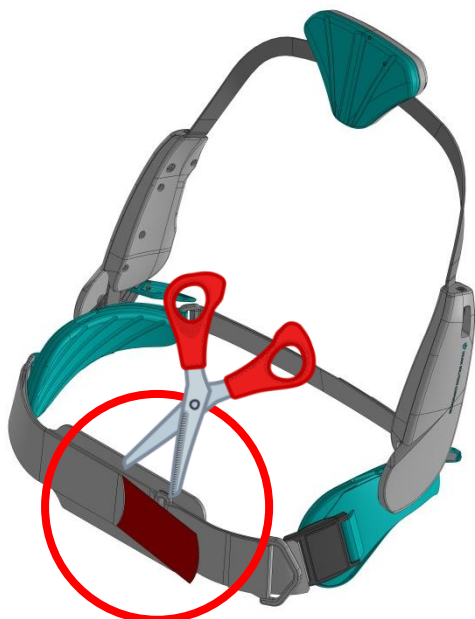
次に面ファスナー部分を再度締め込むことで(②)

全体の長さを短くすることができます。

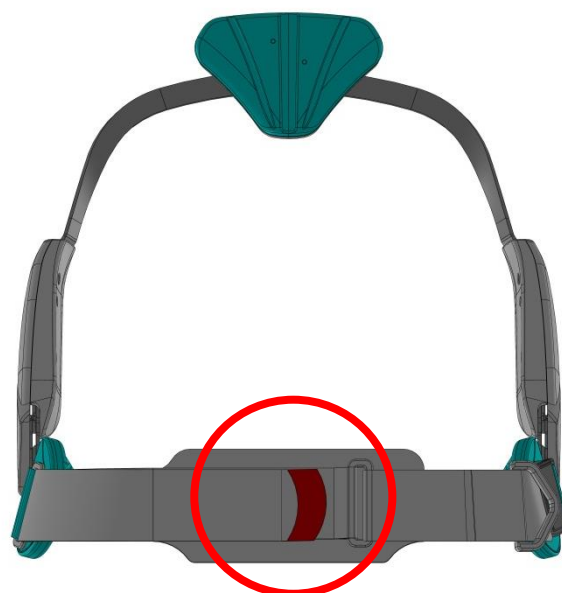


面ファスナー部(下図赤色部)が長い場合は面ファスナー部を適切な長さに切ってお使いください。(下図で示した赤い部分以外は切らないでください。)

他の方がお使いになる為に切ってしまった場合は、使用できなくなる可能性がありますのでご注意ください。



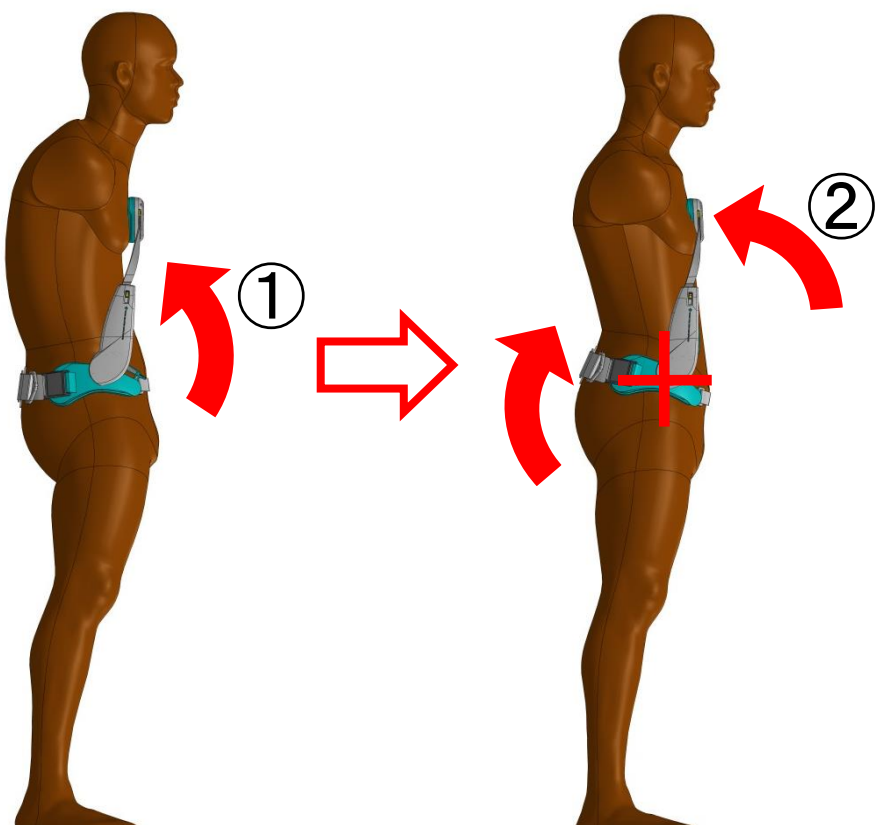
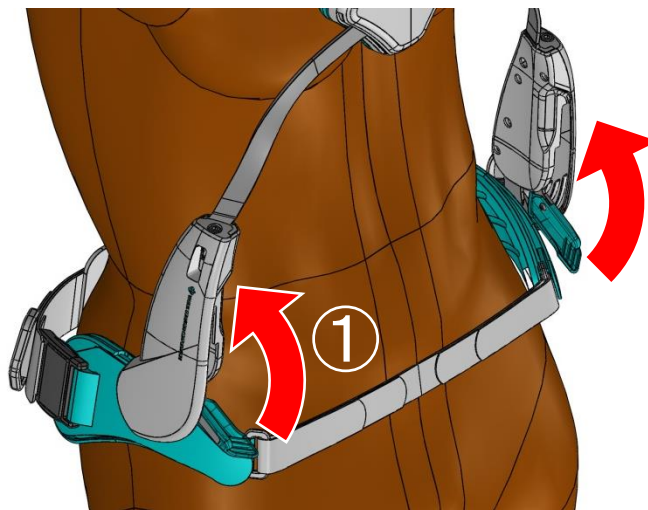
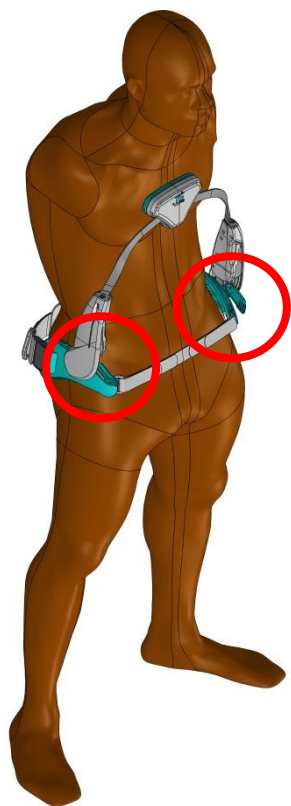
ベルトが長い状態



ベルトの長さを適切に合わせた状態

3-9 押しカレバーを上げる

適切に装着できれば、次は押しカレバーを上を上げて①、骨盤パッド付近の軸を中心軸として胸部を後方へ押すように押し力が発生します②。



3-10 装着確認・点検事項

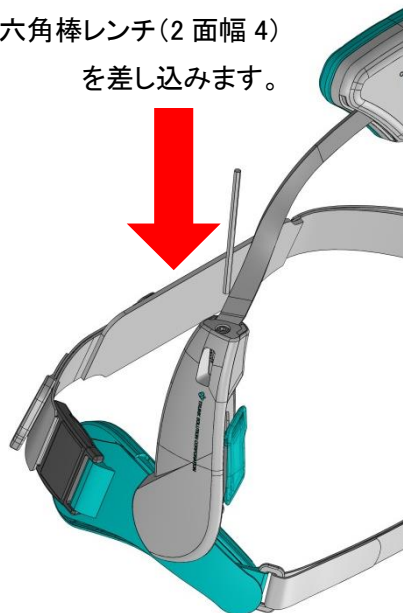
装着後、注意事項を参照していただき、以下の項目を再度確認、点検してください。

- ①胸パットが胸全体に当たって、押していること
(胸を後方に反っても胸パットが胸を押していることを確認してください。)
- ②左右の骨盤パットを両手でつかんで、体に沿って回す力をかけても装具がずれないこと
- ③前から見て左右の骨盤パットが均等に配置されていること
- ④あご下辺と胸パット上辺との距離が15cm以上あいていること
- ⑤骨盤パットが腸骨稜ラインよりも下にあること
- ⑥軽く屈身してもずれないこと
- ⑦数歩、歩いて体に痛みが無いこと
- ⑧胸パットの接触部分に痛みが無いこと
(痛みがある場合は、タオルを挟む、もしくはウレタンフォーム等軟らかい部材を挟み、痛みが出ない状態でお使いください。)
- ⑨骨盤パットが太ももに食い込んで痛みが無いこと
(痛みがある場合は、前ベルトを緩めてください。)
- ⑩骨盤パット、サイドケース付近の可動部に、服などが挟まっていないこと

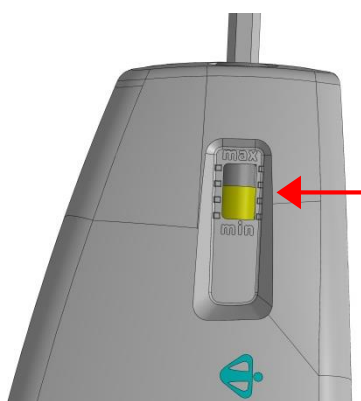
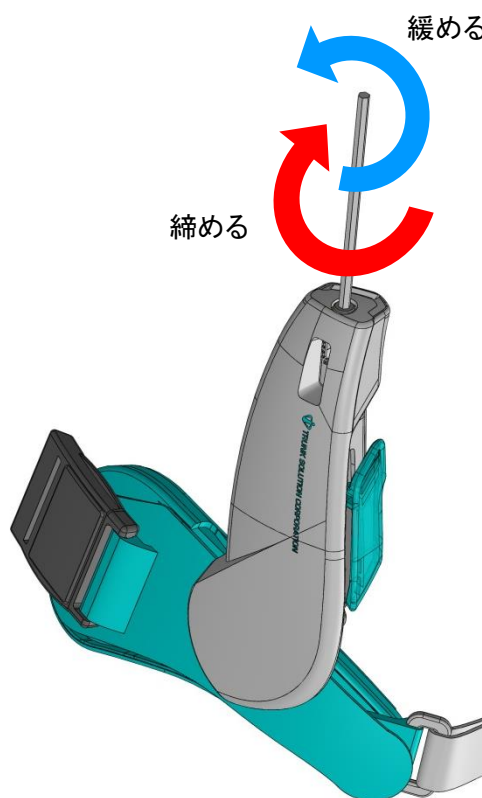
3-11 押し力の調整

押し力を与えた後、力に負けて上半身が後方へ大きく倒れてしまう場合は、押し力が強すぎる可能性があります。押し力は後ろベルトを緩めることで調整できますが、調整が十分にできない場合、左右のボディ横のゲージを確認しながら、押し力の調整を行ってください。押し力の調整は、ボディ上の六角ネジを締めることで行えます。締めると、押し力は上がり、緩めると押し力は下がります。

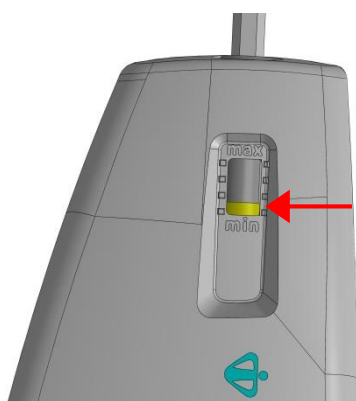
六角棒レンチ(2面幅4)
を差し込みます。



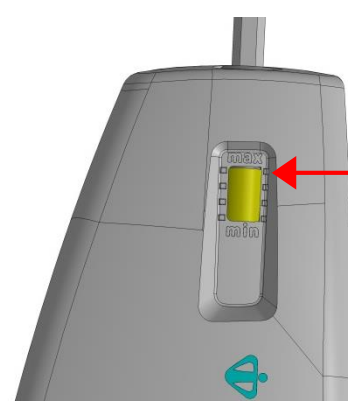
緩める
締める



①出荷時の設定



②1番弱くした場合



③1番強くした場合

※上記②から③の間で押し力は設定してください。

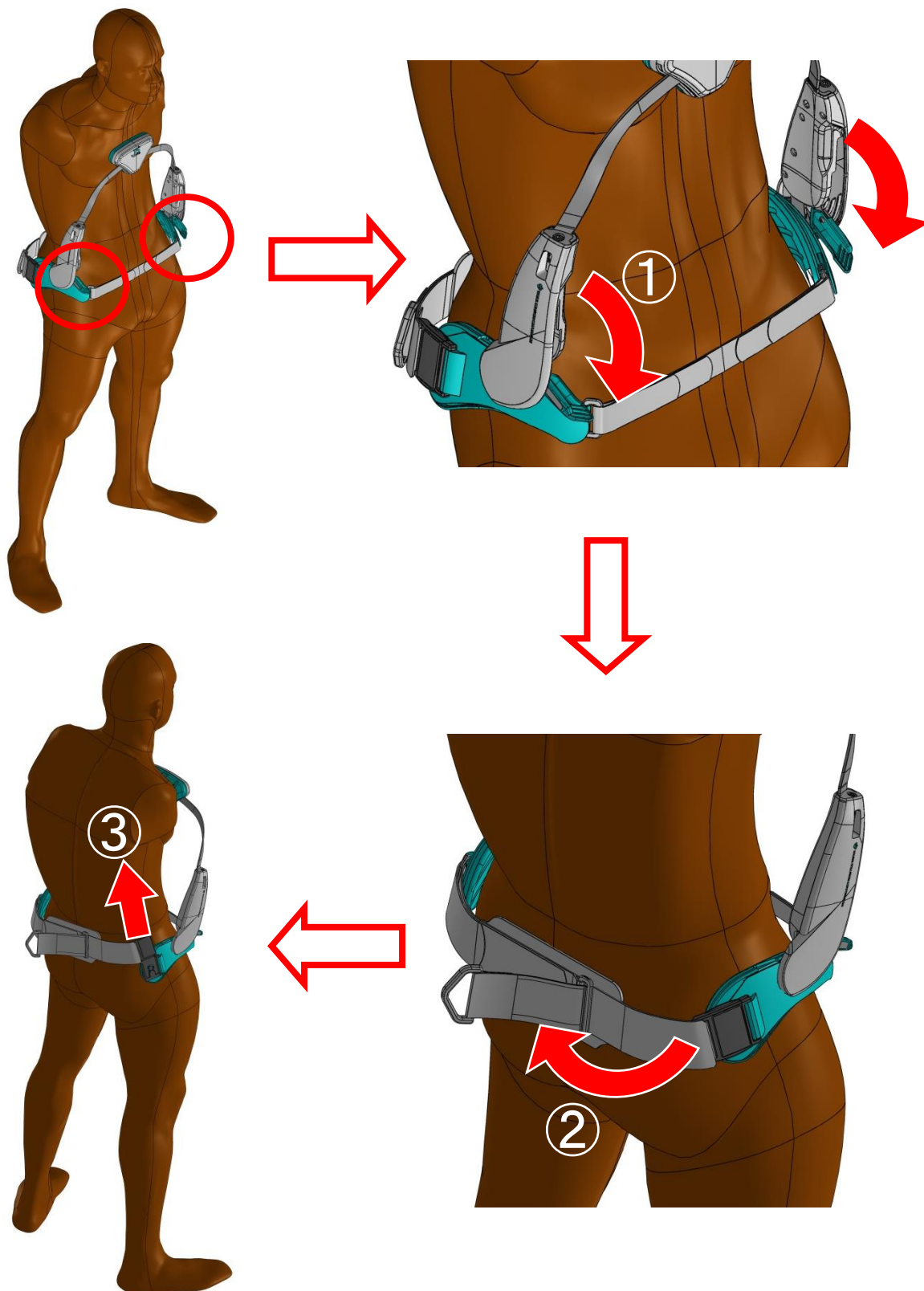
上記設定範囲外で使用しますと装具が破損する恐れがあります。

3-12 装具を外す

装具を外す場合は、押しカレバーを下におろし(①)押し力を解放します。

次に、後ろベルトの締め付けベルトを外したのち(②)バックルを下から上に持ち上げます(③)。

装具を外した場合は、押しレバーを上げた状態で保管してください。



4. 保証規定

I. 保証の範囲

- 保証期間中に品質の不完全に基づく故障を生じた場合は、この保証書により無償で修理致します。
- 保証期間はご購入後6か月です。
- 但し、次の場合は保証期間中でも有償になります。
 - 取り扱い過誤による故障
 - 製品に改良を加えた場合の故障
 - 天災、地震等による故障
 - 消耗部品及び各部の劣化による故障・損傷
 - 保証書にお買い上げ店名の記載や、捺印のない場合
 - 保証書のご提示がない場合
 - 別のお客様から譲渡されたものを使用して故障が生じた場合
- 以上の保証は日本国内においてのみ有効です。
- この保証によってお客様の法律上の権限を制限するものではありません。

II. サービスのご用命

保証期間中、万一故障が生じた場合は、お買い上げ販売店へ保証書を添えてお申し出ください。

III. ご注意

保証書の再発行は致しませんので大切に保管してください。

品質保証書

本製品については上記記載の「保証規定」により正常な使用状態において、故障が生じた場合に限りお買い上げ日より「6か月間」無償で修理致します。消耗品を除く。

機種名	トランクソリューション®コア		
製造番号			
お客様	ご住所		
	電話		
	お名前		
お買い上げ日	平成 年 月 日	保証期間	購入日より 6か月
販売店 :	担当者		
住所 :			

開発企画・販売元

トランクソリューション株式会社

受託製造元

 **川村義肢株式会社**

※取扱説明書の著作権はトランクソリューション株式会社に帰属しており、許可なく取扱説明書の全て、または一部を複製することはお断りいたします。

2017.9 発行